

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月13日
【四半期会計期間】	第103期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	芝浦メカトロニクス株式会社
【英訳名】	SHIBAURA MECHATRONICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 南 健治
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市栄区笠間二丁目5番1号
【電話番号】	045（897）2421（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営管理部長 五十嵐 和彦
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市栄区笠間二丁目5番1号
【電話番号】	045（897）2425
【事務連絡者氏名】	常務取締役経営管理部長 五十嵐 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第102期 第3四半期 連結累計期間	第103期 第3四半期 連結累計期間	第102期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	29,590	28,163	46,245
経常利益又は経常損失() (百万円)	1,632	860	803
当期純利益又は四半期純損失() (百万円)	2,138	1,401	485
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	2,305	1,489	301
純資産額(百万円)	14,885	15,902	17,492
総資産額(百万円)	49,907	54,676	54,250
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()(円)	43.28	28.36	9.83
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	29.8	29.1	32.2

回次	第102期 第3四半期 連結会計期間	第103期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純損失金額()(円)	43.43	29.74

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第102期第3四半期連結累計期間及び第103期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第102期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第102期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の金融不安や円高の進行などにより、先行きの不透明な状況が続いています。

当社グループの主要顧客である液晶パネル業界はテレビ用液晶パネルの供給過剰と価格下落が続いており、大型パネルへの新規設備投資は低迷しています。一方、スマートフォンやタブレットPCなどの中小型パネルおよびタッチパネル分野は急速に成長してきましたが、設備投資が一段落し踊り場状態が続いています。半導体分野は先端分野への設備投資に積極的な動きが見られるものの、新規の量産投資には慎重な動きが続いています。また、太陽電池分野は今後需要の伸びが見込まれるものの、欧州における太陽電池市場の急減速が影響し、顧客の設備投資は低迷しています。

このような景況下、当社グループは受注活動を強化し、半導体や中小型液晶分野の顧客拡大を進めました。さらに、新規事業分野への展開を進めました。また、固定費削減および標準化・リードタイム短縮などのコスト構造改革に取り組み、人員生産性の向上、経営体質の強化や事業構造の改善を進めましたが、液晶大型パネル用装置の低調により厳しい状況が続きました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は28,163百万円（前年同期比4.8%減）、営業損失は929百万円（前年同期は営業損失1,672百万円）、経常損失は860百万円（前年同期は経常損失1,632百万円）、四半期純損失は1,401百万円（前年同期は四半期純損失2,138百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ファインメカトロニクス部門

液晶パネル前工程分野では、テレビ用大型パネル用装置の売上が大きく減少したものの中小型パネル用装置の売上が増加し、前年同期を上回りました。また、洗浄技術やインクジェット技術などを応用した新規事業に取り組み、成果を上げてきています。

半導体前工程分野では、ウェーハ洗浄装置およびマスク関連装置の顧客拡大が進みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は17,136百万円（前年同期比27.2%増）、セグメント利益は459百万円（前年同期はセグメント損失861百万円）となりました。

メカトロニクスシステム部門

液晶モジュール工程分野では、テレビ用大型パネルの設備投資抑制を受け、主力のアウトリードボンダの売上が大きく減少しました。タッチパネル貼合せ装置は堅調に推移していましたが、価格が低下し、また競争が激しくなってきました。

半導体組立工程分野では、先端パッケージ分野での顧客拡大が進み、太陽電池分野では新工法対応の量産装置の顧客拡大を進めました。部門全体としては液晶大型パネル用装置の低調により、厳しい状況が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は8,461百万円（前年同期比37.0%減）、セグメント損失は1,433百万円（前年同期はセグメント損失693百万円）となりました。

流通機器システム部門

券売機、たばこ自販機とも需要低迷が影響し、売上は前年同期に比べ減少しました。

このような状況のもと、当セグメントの売上高は1,268百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント損失は101百万円（前年同期はセグメント損失241百万円）となりました。

不動産賃貸部門

不動産賃貸収入は計画通り推移し、売上高は1,296百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は560百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1,578百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	51,926,194	51,926,194	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	51,926,194	51,926,194	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(千株)	発行済株式総数 残高(千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	51,926	-	6,761	-	6,939

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,513,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 49,320,000	49,320	-
単元未満株式	普通株式 93,194	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	51,926,194	-	-
総株主の議決権	-	49,320	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 芝浦メカトロニクス(株)	神奈川県横浜市栄区 笠間2-5-1	2,513,000	-	2,513,000	4.83
計	-	2,513,000	-	2,513,000	4.83

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,390	4,839
受取手形及び売掛金	26,939	25,056
商品及び製品	2,138	2,608
仕掛品	4,226	5,872
原材料及び貯蔵品	314	182
繰延税金資産	1,071	635
未収入金	714	695
その他	254	329
貸倒引当金	60	58
流動資産合計	38,990	40,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,822	28,241
減価償却累計額	16,965	17,145
建物及び構築物(純額)	11,856	11,096
機械装置及び運搬具	976	1,535
減価償却累計額	786	964
機械装置及び運搬具(純額)	190	571
工具、器具及び備品	366	419
減価償却累計額	316	335
工具、器具及び備品(純額)	50	84
土地	119	119
リース資産	1,751	1,368
減価償却累計額	1,075	946
リース資産(純額)	676	421
建設仮勘定	517	414
有形固定資産合計	13,410	12,708
無形固定資産		
のれん	49	34
特許権	205	255
リース資産	121	74
その他	414	429
無形固定資産合計	790	793
投資その他の資産		
投資有価証券	203	174
長期前払費用	11	10
前払年金費用	319	290
繰延税金資産	180	167
その他	345	372
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	1,059	1,013
固定資産合計	15,260	14,515
資産合計	54,250	54,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,992	11,610 ²
短期借入金	7,705	11,643
1年内返済予定の長期借入金	3,200	1,500
リース債務	380	229
未払法人税等	201	71
未払費用	2,626	2,218
前受金	435	627
役員賞与引当金	34	32
受注損失引当金	119	112
資産除去債務	11	11
その他	393	538
流動負債合計	27,100	28,597
固定負債		
長期借入金	500	1,000
リース債務	439	289
長期未払金	21	21
退職給付引当金	5,211	5,374
役員退職慰労引当金	23	7
修繕引当金	406	427
資産除去債務	31	32
長期預り保証金	3,022	3,022
固定負債合計	9,657	10,176
負債合計	36,758	38,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,995	9,995
利益剰余金	2,426	925
自己株式	1,719	1,720
株主資本合計	17,463	15,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	4
為替換算調整勘定	1	64
その他の包括利益累計額合計	28	59
純資産合計	17,492	15,902
負債純資産合計	54,250	54,676

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	29,590	28,163
売上原価	23,882	22,423
売上総利益	5,707	5,739
販売費及び一般管理費	7,380	6,669
営業損失()	1,672	929
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	3	3
受取賃貸料	87	74
負ののれん償却額	29	-
為替差益	-	63
固定資産売却益	-	71
貸倒引当金戻入額	133	17
その他	69	40
営業外収益合計	327	279
営業外費用		
支払利息	134	141
為替差損	32	-
固定資産廃棄損	6	5
その他	114	63
営業外費用合計	287	211
経常損失()	1,632	860
特別利益		
負ののれん発生益	34	-
特別利益合計	34	-
特別損失		
事業構造改善費用	172	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46	-
特別損失合計	218	-
税金等調整前四半期純損失()	1,815	860
法人税、住民税及び事業税	136	90
法人税等調整額	309	450
法人税等合計	445	541
少数株主損益調整前四半期純損失()	2,261	1,401
少数株主損失()	123	-
四半期純損失()	2,138	1,401

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	2,261	1,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	25
為替換算調整勘定	37	62
その他の包括利益合計	43	88
四半期包括利益	2,305	1,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,263	1,489
少数株主に係る四半期包括利益	41	-

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。
(連結納税制度の適用)	第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)												
<p>1 保証債務</p> <p>当社の従業員の住宅資金借入金に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員</td> <td style="text-align: right;">27百万円</td> </tr> <tr> <td>保証債務計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">27百万円</td> </tr> </table>	従業員	27百万円	保証債務計	27百万円	<p>1 保証債務</p> <p>当社の従業員の住宅資金借入金に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員</td> <td style="text-align: right;">24百万円</td> </tr> <tr> <td>保証債務計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">24百万円</td> </tr> </table> <p>2 四半期連結会計期間末日満期手形</p> <p>四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">142百万円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">767百万円</td> </tr> </table>	従業員	24百万円	保証債務計	24百万円	受取手形	142百万円	支払手形	767百万円
従業員	27百万円												
保証債務計	27百万円												
従業員	24百万円												
保証債務計	24百万円												
受取手形	142百万円												
支払手形	767百万円												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費 1,336百万円	減価償却費 1,022百万円
のれんの償却額 14百万円	のれんの償却額 14百万円
負ののれんの償却額 44百万円	負ののれんの償却額 -百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	98	2.0	平成23年3月31日	平成23年6月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	13,476	13,432	1,316	1,364	29,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	120	-	-	128
計	13,484	13,552	1,316	1,364	29,719
セグメント利益又はセグメント損失()	861	693	241	620	1,175

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,175
全社費用(注)	334
その他	122
四半期連結損益計算書の経常損失()	1,632

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	17,136	8,461	1,268	1,296	28,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	127	0	-	143
計	17,152	8,589	1,269	1,296	28,307
セグメント利益又はセグメント損失()	459	1,433	101	560	515

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	515
全社費用(注)	301
その他	43
四半期連結損益計算書の経常損失()	860

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	43円28銭	28円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(百万円)	2,138	1,401
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(百万円)	2,138	1,401
普通株式の期中平均株式数(千株)	49,415	49,413

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月13日

芝浦メカトロニクス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新居 伸浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野水 善之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている芝浦メカトロニクス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、芝浦メカトロニクス株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。